

03 競技会場

1

水泳

(競泳／飛び込み／シンクロナイズドスイミング／水球)

Aquatics



競技会場

① 名古屋市総合体育館 (レインボープール)

所在地

愛知県名古屋市南区東又兵衛町5-1-5

整備方法

既存

所有者

名古屋市

観客席数

3,500席

施設概要

競泳プール: 50m × 10コース (水深2m)
飛び込みプール: 25m × 25m (水深5m)
飛び込み高さ: 10m、7.5m、5m 各1基
飛び板: 3m、1m 各2基

備考

<開催実績>
日本マスターズ水泳選手権大会 (2013)
第93回日本選手権水泳競技大会
(競泳競技) (2017) (予定)

2

アーチェリー

Archery



競技会場

② 岡崎中央総合公園 (多目的広場他)

所在地

愛知県岡崎市高隆寺町字峠1

整備方法

既存

所有者

岡崎市

観客席数

仮設席 (席数検討中)

施設概要

多目的広場: 26,000㎡
運動広場: 17,900㎡
球技場: 16,000㎡

備考

3

陸上

(フィールド/トラック)

Athletics

(Track / Field)



競技会場

③ 瑞穂公園陸上競技場

所在地

愛知県名古屋市瑞穂区山下通 5-1

整備方法

計画

所有者

名古屋市

観客席数

35,000席程度(可動席込)(予定)

施設概要

第一種公認陸上競技場(予定)

備考

<開催実績>

第49回国民体育大会(1994)

第100回日本陸上競技選手権大会(2016)

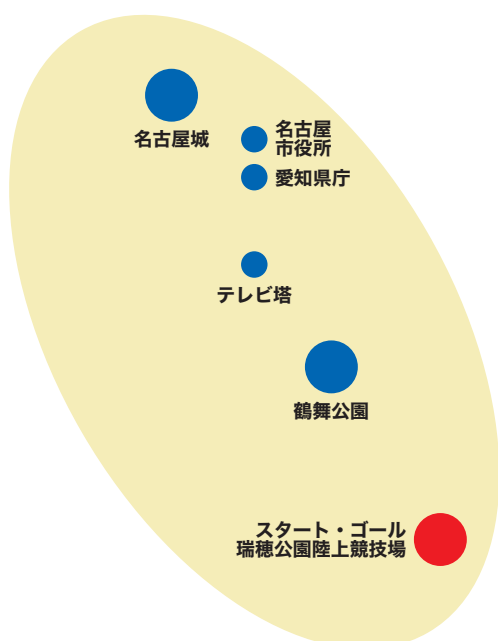
3

陸上

(マラソン)

Athletics

(Marathon)



競技会場

③ 瑞穂公園陸上競技場
(都心コース)

所在地

愛知県名古屋市

整備方法

—

所有者

—

観客席数

—

施設概要

特設コース

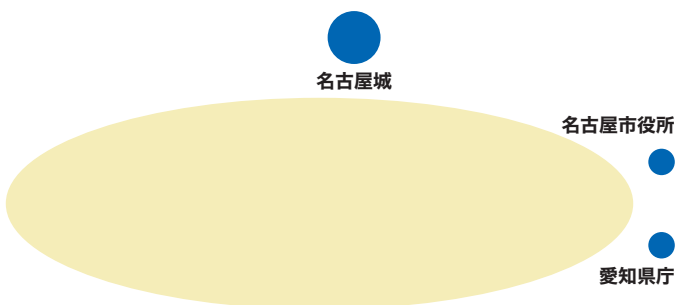
備考

03 競技会場

3

陸上
(競歩)

Athletics
(Race walking)



競技会場

④ 愛知県庁・名古屋市役所
周辺コース

所在地

愛知県名古屋市三の丸

整備方法

—

所有者

—

観客席数

—

施設概要

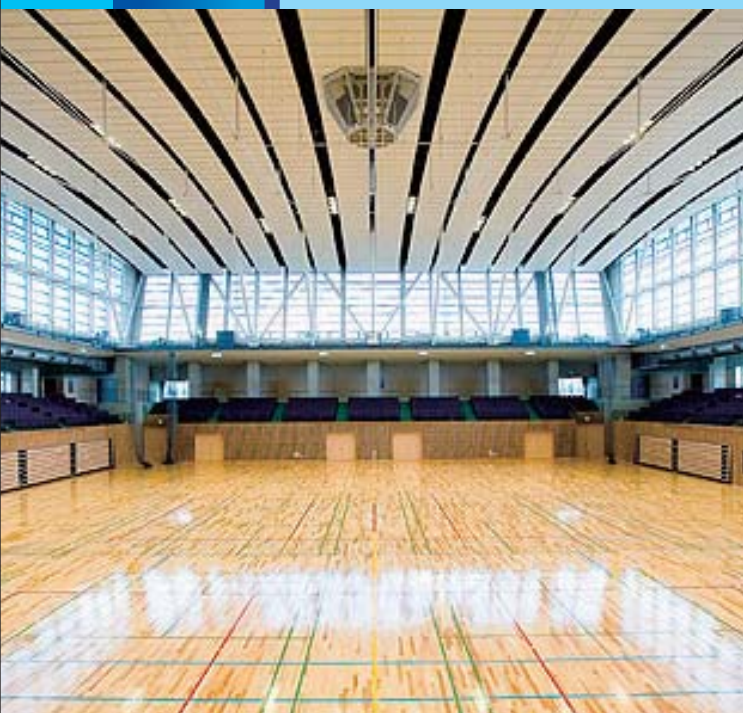
特設コース

備考

4

バドミントン

Badminton



競技会場

⑤ ウイングアリーナ刈谷

所在地

愛知県刈谷市築地町荒田1

整備方法

既存

所有者

刈谷市

観客席数

1,576席

施設概要

アリーナ規模: 50m × 40m

備考

<開催実績>
第31回全日本シニアバドミントン選手権大会(2014)

5

バスケットボール

Basketball



競技会場

⑥ 豊橋市総合体育館

所在地

愛知県豊橋市神野新田町字メノ割1-3

整備方法

既存

所有者

豊橋市

観客席数

2,005席

施設概要

アリーナ規模: 76m × 45m

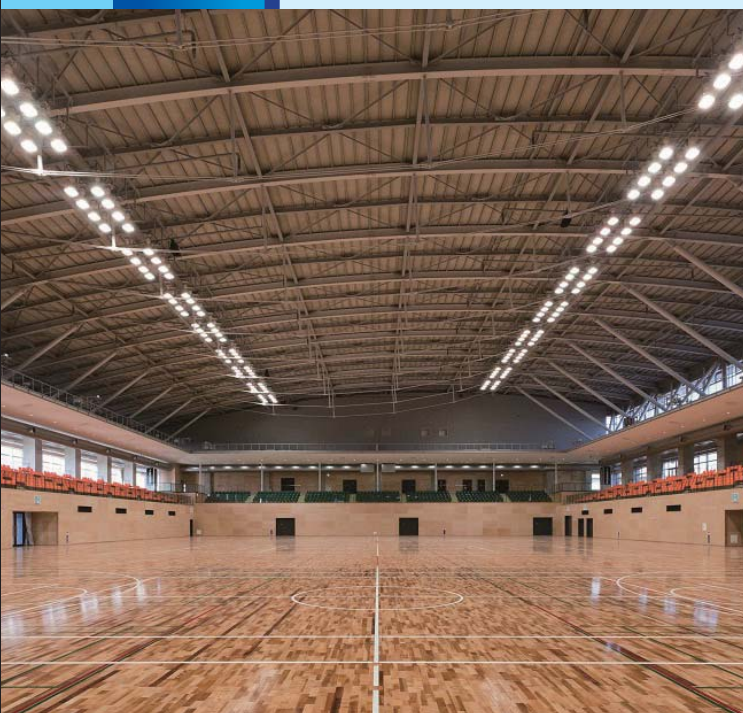
備考

プロバスケットボールチーム
(三遠ネオフェニックス)のホームアリーナ

5

バスケットボール

Basketball



競技会場

⑦ 一宮市総合体育館

所在地

愛知県一宮市光明寺字白山前20

整備方法

既存

所有者

一宮市

観客席数

2,002席

施設概要

アリーナ規模: 68m × 46m

備考

<開催実績>
第19回日・韓・中ジュニア交流競技大会
(バスケットボール) (2011)
NBLリーグ公式試合

03 競技会場

6

ボクシング

Boxing



競技会場

⑧ 春日井市総合体育館

所在地

愛知県春日井市鷹来町4196-3

整備方法

既存

所有者

春日井市

観客席数

2,024席

施設概要

アリーナ規模:65m×39m

備考

7

カヌー・カヤック
(スプリント)

Canoe-Kayak
(Sprint)



競技会場

⑨ 長良川国際ボートコース

所在地

岐阜県海津市／愛知県愛西市

整備方法

既存

所有者

国土交通省

観客席数

仮設席(席数検討中)

施設概要

直線2,000m 10レーン

備考

<開催実績>
全日本長良川カヌー長距離選手権大会(2015)
第67回国民体育大会(2012)

7

カヌー・カヤック

(スラローム)

Canoe-Kayak

(Slalom)



競技会場

⑩ 矢作川 カヌースラロームコース

所在地

愛知県豊田市池島町

整備方法

既存

管理者

愛知県

観客席数

仮設席(席数検討中)

施設概要

250m～350m

備考

<開催実績>
カヌースラロームジャパンカップ(2011)

7

カヌー・カヤック

(ボロ)

Canoe-Kayak

(Polo)



競技会場

⑪ 保田ヶ池

所在地

愛知県みよし市三好町大慈山

整備方法

既存

所有者

みよし市

観客席数

仮設席(席数検討中)

施設概要

コート4面(常設2コート、移動可2コート)
競技場規模:36m×24m

備考

<開催実績>
世界カヌーボロ選手権大会(2004)

03 競技会場

8

自転車 (トラックレース)

Cycling
(track)



競技会場

⑫ 伊豆ベロドローム

所在地

静岡県伊豆市大野 1826

整備方法

既存

所有者

一般財団法人
日本サイクルスポーツセンター

観客席数

常設:1,800席/仮設:1,200席

施設概要

走路:木製
周長:250m
幅員:7.6m
最大カント(最大傾斜角度):45度

備考

<開催実績>
全日本自転車競技選手権大会
(2011-2013、2015、2016)
アジア自転車競技選手権大会(2016)
ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設

8

自転車 (ロードレース)

Cycling
(road)

計画中

競技会場

⑬ 奥三河地域

所在地

愛知県奥三河地域

整備方法

—

所有者

—

観客席数

仮設席(席数検討中)

施設概要

特設コース

備考

8

自転車

(マウンテンバイク)

Cycling
(mountain bike)

計 画 中

競 技 会 場

⑭ 名古屋市内

所 在 地

愛知県名古屋市

整 備 方 法

—

所 有 者

—

観 客 席 数

仮設席(席数検討中)

施 設 概 要

特設コース

備 考

8

自転車

(BMXレース)

Cycling
(BMX)

競 技 会 場

⑮ 大規模展示場駐車場

所 在 地

愛知県常滑市(空港島)

整 備 方 法

仮設

所 有 者

愛知県

観 客 席 数

仮設席(席数検討中)

施 設 概 要

駐車場: 約87,000㎡
多目的利用地: 約44,000㎡

備 考

03 競技会場

9

馬術

Equestrian



競技会場

①6 愛知県森林公園

所在地

愛知県尾張旭市大字新居 5182-1

整備方法

既存(馬場)
仮設(クロスカントリー)

所有者

愛知県

観客席数

仮設席(席数検討中)

施設概要

第1馬場: 90m × 60m
第2馬場: 120m × 70m

備考

<開催実績>
第49回国民体育大会(1994)
国際競技基準に適合するよう改修が必要

10

フェンシング

Fencing



競技会場

①7 大規模展示場

所在地

愛知県常滑市(空港島)

整備方法

計画

所有者

愛知県

観客席数

仮設席(席数検討中)

施設概要

延べ面積: 約 86,000㎡
うち展示場: 約 60,000㎡

備考



競技会場

⑮ 豊田スタジアム

所在地

愛知県豊田市千石町7-2

整備方法

既存

所有者

豊田市

観客席数

最大45,000席

施設概要

141m×88m
(天然芝部分:115m×78m)

備考

＜開催実績＞
FIFAクラブワールドカップ(2011、2012等)
国際Aマッチ(キリンカップ2016等)
Jリーグ公式試合

競技会場	⑲ 港サッカー場	⑳ 豊田市運動公園 球技場	㉑ ウェーブスタジアム刈谷	㉒ 豊橋市民球技場
所在地	愛知県名古屋市港区 野跡4-11-12	愛知県豊田市高町東山 4-97	愛知県刈谷市築地町荒田1	愛知県豊橋市岩田町 1-2(岩田運動公園内)
整備方法	既存	既存	既存	既存
施設概要	天然芝 競技場規模:146m×83m	天然芝 競技場規模:140m×77m	天然芝 競技場規模:108m×70m	天然芝 競技場規模:150m×85m
観客席数	6,700席 (他に芝生席約13,000席)	(芝生席約2,500席)	4,002席	4,000席
所有者	名古屋市	豊田市	刈谷市	豊橋市
備考	＜開催実績＞ 第95回天皇杯 全日本サッカー選手権大会 (2015)	＜開催実績＞ U-16豊田国際 ユースサッカー大会 (2000-2013)	＜開催実績＞ 第51回東海社会人 サッカーリーグ1部(2016)	＜開催実績＞ Jリーグサテライト (1992-1994) 日韓国際親善試合 子供サッカー交流大会 (2001)

03 競技会場

12 ゴルフ

Golf



競技会場

②3 愛知カンツリー倶楽部

所在地

愛知県名古屋市名東区猪高町高針字山ノ中20-1

整備方法

既存

所有者

一般社団法人
愛知カンツリー倶楽部

観客席数

仮設席(席数検討中)

施設概要

71万㎡
18ホール

備考

<開催実績>
日本オープン(1957、1971、2010)
日本アマチュア選手権(1960、1964、2007)
第16回ネイバーストロフィーチーム選手権(2016)

13 体操 (体操/新体操/トランポリン)

Gymnastics



競技会場

②4 名古屋市総合体育館 (レインボーホール)

所在地

愛知県名古屋市南区東又兵衛町5-1-16

整備方法

既存

所有者

名古屋市

観客席数

5,000席

施設概要

アリーナ規模: 84.4m × 49.4m

備考

<開催実績>
第49回国民体育大会(1994)

14 ハンドボール

Handball



競技会場

②5 テバオーシャンアリーナ

所在地

愛知県名古屋市港区金城ふ頭 2-7

整備方法

既存

所有者

テバ製薬株式会社

観客席数

2,524 席

施設概要

国際規格フットサルコート：40m × 20m

備考

14 ハンドボール

Handball



競技会場

②6 名古屋市
稲永スポーツセンター

所在地

愛知県名古屋市港区野跡 5-1-10

整備方法

既存

所有者

名古屋市

観客席数

2,232 席

施設概要

アリーナ規模：46.5m × 35.5m

備考

<開催実績>
第18回 JOC ジュニアオリンピックカップ
ハンドボール大会 (2009)

03 競技会場

15 ホッケー

Hockey



競技会場

②7 岐阜県グリーンスタジアム

所在地

岐阜県各務原市下切町 6-1-4

整備方法

既存

所有者

岐阜県

観客席数

約5,000席

施設概要

ウォーターベース人工芝2面

備考

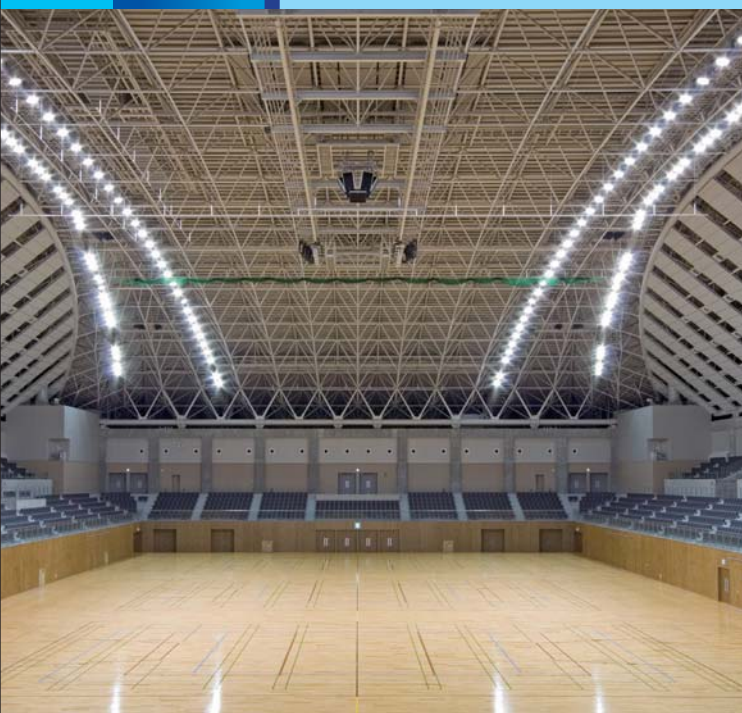
<開催実績>

第30回ロンドンオリンピック男女ホッケー
予選大会(2012)

第3回アジアチャンピオンズトロフィー(2013)
ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設

16 柔道

Judo



競技会場

②8 豊田市総合体育館
(スカイホール豊田)

所在地

愛知県豊田市八幡町 1-20

整備方法

既存

所有者

豊田市

観客席数

3,470席

施設概要

アリーナ規模:80m×45m

備考



競技会場

①⑥ 愛知県森林公園
(Running & Shooting /
ランニング&射撃 Riding / 馬術)

所在地

愛知県尾張旭市大字新居5182-1

整備方法

仮設

所有者

愛知県

観客席数

仮設席(席数検討中)

施設概要

ランニング&射撃: 計画中
馬術 第1馬場: 90m × 60m
第2馬場: 120m × 70m

備考

馬術 国際競技基準に適合するよう改修が必要

競技会場	①⑦ 大規模展示場 (Fencing / フェンシング)	① 名古屋市総合体育館(レインボーホール) (Swimming / 水泳)
所在地	愛知県常滑市(空港島)	愛知県名古屋市南区東又兵衛町5-1-5
整備方法	計画	既存
施設概要	延べ面積: 約86,000㎡ うち展示場: 約60,000㎡	水泳プール: 50m × 10コース(水深2m) 飛込プール: 25m × 25m(水深5m) 飛込台高さ: 10m、7.5m、5m 各1基 飛板: 3m、1m 各2基
観客席数	仮設席(席数検討中)	3,500席
所有者	愛知県	名古屋市
備考	フェンシング会場を利用	<開催実績> 日本マスターズ水泳選手権大会(2003) 第93回日本選手権水泳競技大会(競泳競技) (2017)(予定) 競泳会場を利用

03 競技会場

18 ボート

Rowing



競技会場

⑨ 長良川国際ボートコース

所在地

岐阜県海津市／愛知県愛西市

整備方法

既存

所有者

国土交通省

観客席数

仮設席(席数検討中)

施設概要

直線 2,000m 10レーン

備考

<開催実績>
FISA 世界ボート選手権大会 (2005)

19 ラグビー

Rugby



競技会場

②⑨ 瑞穂公園ラグビー場

所在地

愛知県名古屋市瑞穂区山下通 5-4

整備方法

既存

所有者

名古屋市

観客席数

約 10,000 席(他に芝生席約 3,000 席)

施設概要

天然芝
競技場規模: 135m × 80m

備考

<開催実績>
U-20 世界ラグビー選手権 (2009)
アジア 5 カ国対抗 (2014)
ラグビー専用競技場

20 セーリング

Sailing



競技会場

③0 海陽ヨットハーバー

所在地

愛知県蒲郡市海陽町 1-7

整備方法

既存

所有者

愛知県

観客席数

仮設席(座席数検討中)

施設概要

陸域:87,100㎡ 水域:32,700㎡
艇庫棟:1,053㎡ ポートヤード:18,203㎡
(ディンギー 538艇、クルーザー 42艇)
係留施設延べ40m×2か所 延べ80m×1か所

備考

<開催実績>
国際スナイプ級ヨット世界選手権(2005)
全日本スナイプ級スプリングCUP(2015)

21 射撃 (ピストル/ライフル/クレイ)

Shooting



競技会場

③1 愛知県総合射撃場

所在地

愛知県豊田市宇連野町ウネ畑 12-95

整備方法

既存

所有者

愛知県

観客席数

仮設席(席数検討中)

施設概要

第1射撃場:小口径ライフル50m50射座
第2射撃場:エアライフル10m50射座
(うちビームライフル12射座)
第3射撃場:大口径ライフル150m5射座、
スラグ弾50m兼用
第4射撃場:クレイ射撃場トラップ2面、スキート1面、
スキート・ラビッド併用1面、
トラップ・スキート・フィールド併用1面

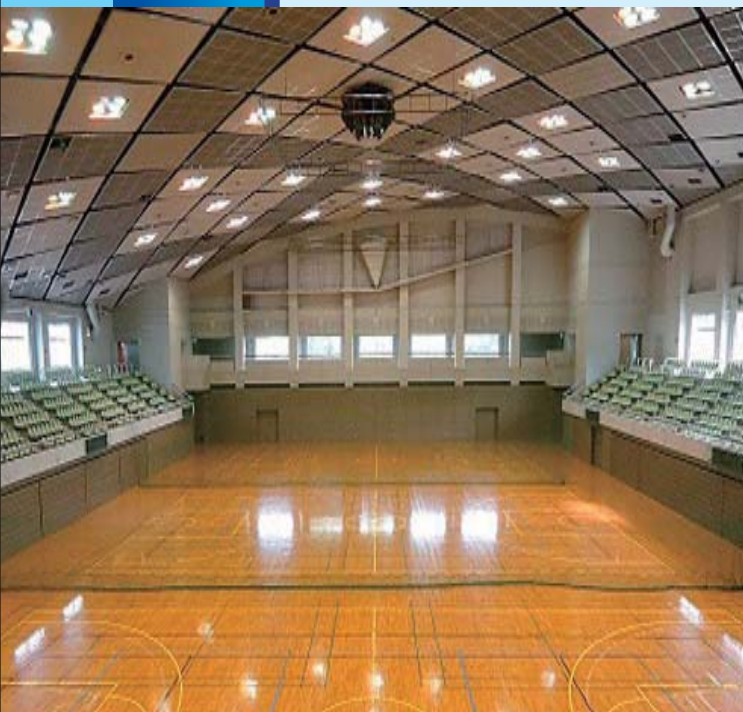
備考

<開催実績>
第49回国民体育大会(1994)
国際競技基準に適合するよう改修が必要

03 競技会場

22 卓球

Table Tennis



競技会場

③② 西尾市総合体育館

所在地

愛知県西尾市小島町大郷 1-1

整備方法

既存

所有者

西尾市

観客席数

1,508 席

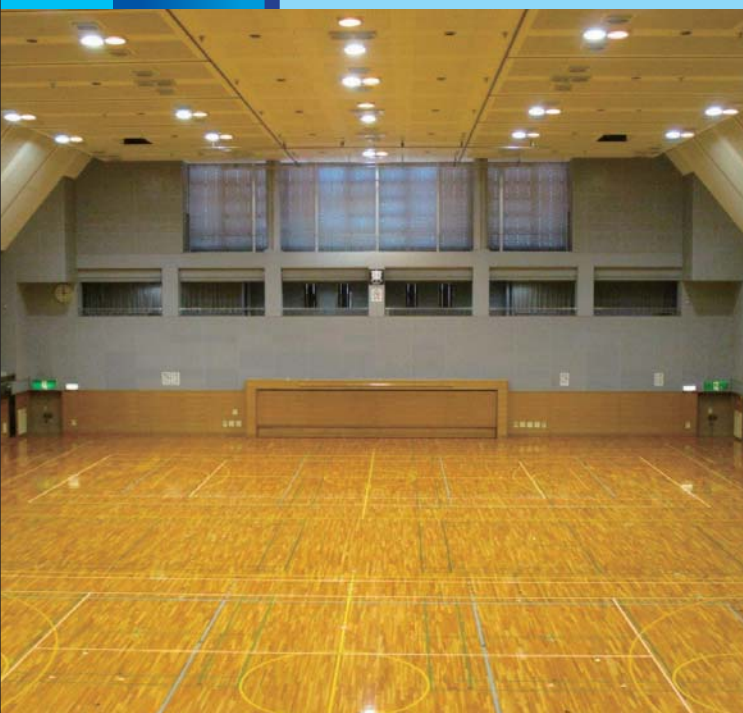
施設概要

アリーナ規模: 60m × 38m

備考

23 テコンドー

Taekwondo



競技会場

③③ 名古屋市枇杷島
スポーツセンター

所在地

愛知県名古屋市西区枇杷島 1-1-2

整備方法

既存

所有者

名古屋市

観客席数

1,750 席

施設概要

アリーナ規模: 45m × 36m

備考

<開催実績>
第 31 回全日本学生拳法個人選手権大会 (2015)

24

テニス・ソフトテニス

Tennis/
Soft Tennis

競技会場

③4 名古屋市東山公園
テニスセンター

所在地

愛知県名古屋市天白区天白町八事裏山 60-19

整備方法

既存

所有者

名古屋市

観客席数

3,000席(センターコート)

施設概要

全コート砂入り人工芝 20面(うち照明 18面)
センターコート1面 屋内4面 屋外15面

備考

<開催実績>

第49回国民体育大会(1994)

ワールドジュニアテニス大会(1996-1998)

ジャパンオープンジュニアテニス選手権大会(2000)

25

トライアスロン

Triathlon

調整中

競技会場

調整中

所在地

—

整備方法

—

所有者

—

観客席数

—

施設概要

—

備考

03 競技会場

26 バレーボール

Volleyball



競技会場

③⑤ 愛知県体育館

所在地

愛知県名古屋市中区二の丸1-1

整備方法

既存

所有者

愛知県

観客席数

4,375席

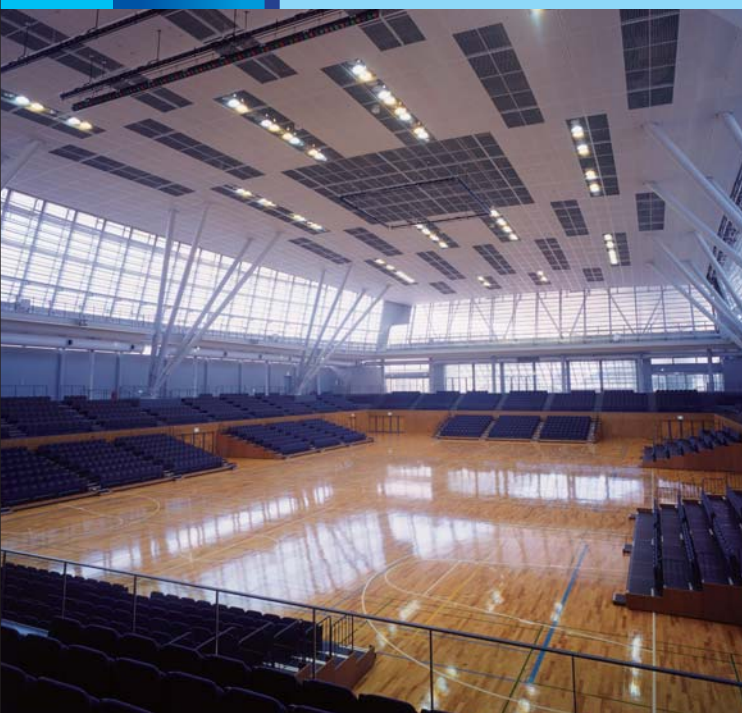
施設概要

アリーナ規模: 64m × 40m

備考

26 バレーボール

Volleyball



競技会場

③⑥ 小牧市スポーツ公園
総合体育館 (パークアリーナ小牧)

所在地

愛知県小牧市間々原新田737

整備方法

既存

所有者

小牧市

観客席数

1,868席

施設概要

アリーナ規模: 65m × 40m

備考

<開催実績>
FIVB バレーボールワールドグランプリ (2012)
FIVB バレーボールワールドカップ (2015)

26

バレーボール

(ビーチバレーボール)

Volleyball
(Beach Volleyball)

計 画 中

競 技 会 場

③⑦ (仮称) 碧南緑地
ビーチコート

所 在 地

愛知県碧南市港本町 1-1

整 備 方 法

計画

所 有 者

碧南市

観 客 席 数

仮設席(席数検討中)

施 設 概 要

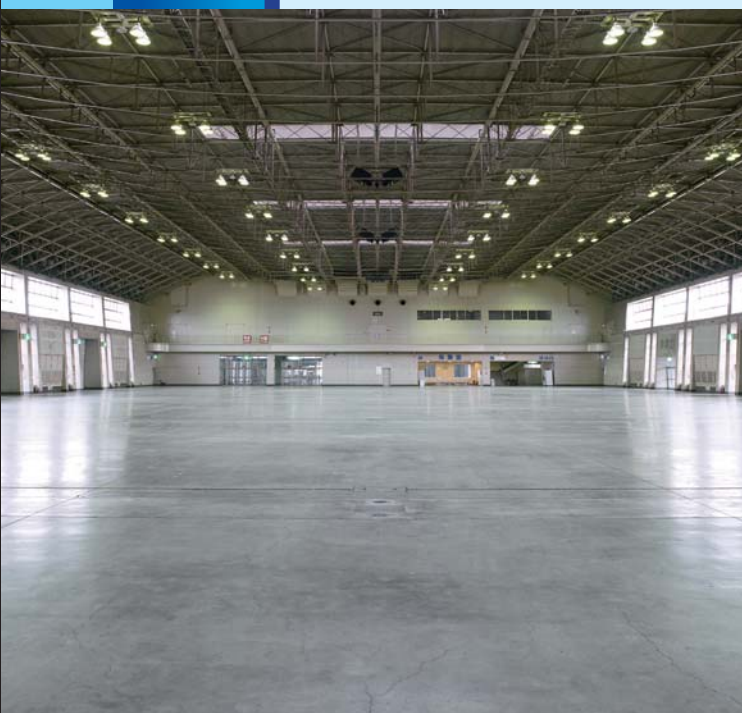
砂場面積: 80m × 30m (予定)

備 考

27

ウェイトリフティング

Weightlifting



競 技 会 場

③⑧ 名古屋市中小企業
振興会館(吹上ホール)

所 在 地

愛知県名古屋市千種区吹上 2-6-3

整 備 方 法

既存

所 有 者

名古屋市

観 客 席 数

仮設席(席数検討中)

施 設 概 要

展示面積: 5,327㎡
床荷重: 5 t /㎡

備 考

28 レスリング

Wrestling



競技会場

③9 岡崎中央総合公園
(体育館)

所在地

愛知県岡崎市高隆寺町字峠1

整備方法

既存

所有者

岡崎市

観客席数

約2,620席

施設概要

アリーナ規模:63m×42m

備考

第20回
アジア競技大会
開催構想 20th Asian Games Proposal
AICHI
NAGOYA



競技会場

④① ナゴヤドーム(野球)

所在地

愛知県名古屋市東区大幸南1-1-1

整備方法

既存

所有者

株式会社ナゴヤドーム

観客席数

38,200席

施設概要

両翼:100m
中堅:122m

備考

中日ドラゴンズのホームスタジアム

競技会場	④① 岡崎中央総合公園 (市民球場)(野球)	④② 小牧市総合運動場 野球場(野球)	④③ 刈谷球場 (ソフトボール)	④④ 安城市総合運動公園 (ソフトボール)
所在地	愛知県岡崎市高隆寺町 字峠1	愛知県小牧市上末 3450-303	愛知県刈谷市城町1-49	安城市新田町新定47
整備方法	既存	既存	既存	既存
施設概要	両翼:99m 中堅:126m	両翼:92m 中堅:120m	両翼:95m 中堅:122m	A 球場 グラウンド面積:7,130㎡ B 球場 グラウンド面積:7,130㎡
観客席数	20,000席	5,751席 (他に芝生席約6,249席)	5,000席	A 球場:約320席 (他に芝生席約2,580席) B 球場:140席 (他に芝生席約2,200席)
所有者	岡崎市	小牧市	刈谷市	安城市
備考			<開催実績> 第49回日本女子 ソフトボールリーグ(2016)	改修計画中

03 競技会場

30 ボウリング

Bowling



競技会場

④5 稲沢グランドボウル

所在地

愛知県稲沢市井之口大坪町 80-1

整備方法

既存

所有者

株式会社グランドボウル

観客席数

仮設席(席数検討中)

施設概要

116レーン

備考

<開催実績>
ワールドボウリングツアーメジャー
インターナショナルボウリングチャンピオンシップ(2013)
1フロアあたりレーン数世界最大のボウリング場
(ギネスワールドレコーズ「ギネス世界記録」認定)

31 クリケット

Cricket



競技会場

④6 愛・地球博記念公園
野球場

所在地

愛知県長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1

整備方法

仮設

所有者

愛知県

観客席数

仮設席(席数検討中)

施設概要

フィールド面積: 約31,000㎡

備考

32 カバディ

Kabaddi



競技会場

④7 東海市民体育館

所在地

愛知県東海市高横須賀町榊形 1-1

整備方法

既存

所有者

東海市

観客席数

1,270 席

施設概要

アリーナ規模: 59m × 39m

備考

33 マーシャルアーツ

Martial Arts



競技会場

④8 愛知県武道館

所在地

愛知県名古屋市港区丸池町 1-1-4

整備方法

既存

所有者

愛知県

観客席数

1,504 席

施設概要

武道場規模: 46m × 33m

備考

<開催実績>

第20回 JOC ジュニアオリンピック武術太極拳大会 (2012)

(参考) 想定競技 ※2018年アジア競技大会(ジャカルタ大会)実施予定競技

Karate / 空手	Sambo / サンボ
Kurash / クラッシュ	Pencak Silat / プンチャック・シラット
Wushu / 武術太極拳	Ju-Jitsu / 柔術

03 競技会場

34 セパタクロー

Sepaktakraw

計 画 中

競 技 会 場

④9 (仮称) 瑞穂公園体育館

所 在 地

愛知県名古屋市瑞穂区田辺通 3-2

整 備 方 法

計画

所 有 者

名古屋市

観 客 席 数

未定

施 設 概 要

アリーナ規模: 45m × 36m (予定)

備 考

35 スポーツクライミング

Sport Climbing

計 画 中

競 技 会 場

⑤0 名古屋市国際展示場
(ポートメッセなごや)

所 在 地

名古屋市港区金城ふ頭

整 備 方 法

計画

所 有 者

名古屋市

観 客 席 数

仮設席 (席数検討中)

施 設 概 要

新第1展示館
展示面積: 約 20,000㎡
天井高: 15m ~ 20m

備 考

36

スカッシュ

Squash

競技会場

⑪ 大規模展示場

所在地

愛知県常滑市(空港島)

整備方法

計画

所有者

愛知県

観客席数

仮設席(席数検討中)

施設概要

延べ面積:約86,000㎡
うち展示場:約60,000㎡

備考

第20回
アジア競技大会
開催構想

20th Asian Games Proposal

AICHI
NAGOYA

04 選手村

愛知県の花で彩られた、安心・安全・快適な選手村

選手村イメージ



名古屋競馬場跡地(候補地の一つ)

■ 計画コンセプト

メイン会場と想定する瑞穂公園陸上競技場や主要な競技会場から短時間で移動できる場所に、選手始め大会関係者約1万5千人が収容可能な選手村を整備し、安心・安全・快適に滞在できる生活環境を提供します。

現在、名古屋競馬場の移転が検討されており、その跡地を候補地のひとつとしています。

また、日本一の花き産出額を誇る愛知県らしく、選手村の各所には多様な花々の植栽やアレンジメント等を施し、選手がリラックスできる空間を演出します。

■ 安心・安全・快適

各選手に十分な宿泊スペースを確保することはもちろん、最先端の技術を活用したセキュリティ対策や、地元自治体と連携した消防・防災対策で、安心・安全が徹底された選手村とします。また、メインダイニングでは、選手のコンディションに直結する「食」について、日本料理はもちろんのこと、アジア各国の料理をはじめ、この地域独自のグルメである「なごやめし」が楽しめるメニューや、県産の食材をふんだんに用いたメニューを用意し、愛知・名古屋ならではのおもてなしを行ないます。村内の各所にはレジャー施設や交流スペース、瞑想や礼拝のための空間を設け、様々なバックグラウンドをもつ選手ひとりひとりが、快適に滞在することができるよう配慮します。

■ ホスピタリティ

選手村内の案内標示・掲示は、全て多言語及びピクトグラムを用い、誰もがわかりやすい案内とします。また、多言語対応のコンシェルジュを複数配備し、選手村宿泊者の多様なリクエストにきめ細やかに対応します。

■ 環境配慮

選手村の建設に際しては、再生可能エネルギー、次世代エネルギーを導入するとともに、選手村内の各施設の配置を最適化し、可能な限りコンパクトな計画とすることで、環境への影響を最小限に抑えます。大会期間中は、グリーン調達に努め、ごみの削減・分別やリサイクルを徹底するなど、環境に配慮した運営を行います。

■ 選手村の諸施設

選手村内には、選手にとって最適なコンディションを確保できる宿泊室を用意します。また、宿泊室だけでなく、娯楽施設や多宗教センター、総合診療所、NOCサービスセンター、ダイニングホール、輸送センター、ウェルカムセンター等、関係者も利用しやすく快適に過ごせる施設とします。

05 気象データ

愛知県における2006年から2015年までの過去10年間の9月18日から10月3日(大会仮定期間)の平均気温、最高気温、最低気温、平均風速、降水量、雨天率、好天日出現率の平均は次の表のとおりです。

	平均気温 (℃)	最高気温 (℃)	最低気温 (℃)	平均風速 (m/s)	降水量 (mm)	雨天率 (%)	好天日出現率 (%)
9月18日	24.9	29.4	21.5	3.4	12.3	30%	70%
9月19日	24.5	29.1	21.1	2.9	26.0	30%	70%
9月20日	24.4	29.2	20.6	2.6	84.8	10%	90%
9月21日	24.3	29.0	20.3	2.8	16.8	20%	80%
9月22日	24.5	29.6	20.3	2.8	0.7	0%	100%
9月23日	23.0	27.5	19.5	2.8	17.9	30%	70%
9月24日	22.8	27.2	19.1	2.6	7.1	10%	90%
9月25日	23.3	28.3	19.5	2.9	22.9	20%	80%
9月26日	22.3	27.1	18.5	2.9	2.0	10%	90%
9月27日	22.1	27.0	18.3	2.7	8.4	20%	80%
9月28日	22.5	28.0	18.1	2.9	9.5	20%	80%
9月29日	21.7	26.1	17.9	2.6	6.5	20%	80%
9月30日	21.1	24.7	18.6	2.3	17.6	40%	60%
10月1日	21.5	25.9	18.3	2.5	7.5	30%	70%
10月2日	21.6	26.0	18.0	3.1	7.5	30%	70%
10月3日	21.7	26.8	17.9	3.0	1.0	10%	90%

出典：気象庁ホームページ

※雨天率：5mm以上の降雨の割合／好天日出現率：5mm未満の降雨の割合

06 交通輸送

国際アクセス

2005年日本国際博覧会（愛・地球博）開催にあわせて開港した中部国際空港（セントレア）は、年間発着回数約9.7万回、年間旅客数約1,042万人（2015年度）を誇る日本の国際拠点空港の一つです。

国際線は、世界40都市351便/週の定期便が就航しており、特にアジア諸国へは35都市310便/週が就航し、アジア各都市からのアクセスが非常に優れています。また、国内線も、全国18都市に84便/日が就航するなど、全国各地からアクセス可能な環境が整備されています（2016年9月1日現在）。

中部国際空港は24時間運用の空港であり、今後、新ターミナルビルの整備（2019年開業予定）が計画される他、二本目滑走路の整備を始めとする機能強化も進められており、2026年のアジア競技大会開催に向け、この地域一丸となって、国際ネットワークの拡充に取り組むこととしています。

また、中部国際空港は、英国SKYTRAX社が実施した顧客サービスに関する国際空港評価「World Airport Award 2016」において、2015年から2年連続して「The World's Best Regional Airports 2016」を受賞し、また、6年連続して「Best Regional Airports : Asia」を受賞しています。世界から来訪する選手・関係者・観戦客等の皆様方が安全はもちろんのこと、快適にご利用いただける空港です。

誰もが快適に移動できる環境を提供



輸送手段

選手等大会関係者の移動は選手村、競技会場、練習場、空港、名古屋市中心部を一定間隔で運行するシャトルバスを使用し、アジア・オリンピック評議会（OCA）役員等のVIPの移動には専用自動車を使用します。

また、大会関係車両の移動状況やリアルタイムの交通情報を把握し、交通事故等、不測の事態においても、遅れなく各会場に到着できるよう適切に誘導できる体制を配備します。

観戦客の輸送手段としては、既存の公共交通に加え、県内の主要な交通拠点と各競技会場を連絡するシャトルバスを運行し、迅速かつ確実な輸送を実現します。

また、世界から集まるアスリート・関係者・観戦客の誰もが快適に過ごせる大会とするため、県内各交通機関のバリアフリー・ユニバーサルデザイン化を推進します。

これらの交通輸送計画については、関係各自治体や道路管理者、交通事業者等と十分に協議・連携し、大会に関わる全域で安全・円滑・確実な移動環境を確保します。

空港から各施設へのアクセス

中部国際空港とメイン会場のある名古屋市街地は、自動車専用道路を経由して約30分で移動することができます。また、空港には鉄道が乗り入れており、名古屋駅までは約30分で移動できます。



07 メディカルサービス

安定した医療サービスの提供

■ 愛知県内の医療機能

愛知県内には、病院が322病院、一般診療所が5,338ヶ所あります(2015年10月1日現在)。また、医療法の規定に基づき、一般の病院では対応が困難な疾患の治療を行うなどの高度の医療サービスの提供、医療技術の開発等の機能を有する病院である特定機能病院として、県内の4つの大学病院が承認を受けています。

■ 救急医療体制

愛知県では、1981年から県内全域の救急医療情報システムが整備されており、日本語による24時間体制での医療機関案内が可能となっています。また、24時間365日体制で重篤な患者を受け入れる救命救急センターは、県内22ヶ所が指定されています。

■ 国際対応

愛知県では、英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・韓国語の5ヶ国語での自動音声及びFAXによる外国語対応可能な医療機関の案内が行なわれています。

■ 災害時対応

大規模災害時の広域医療搬送拠点として県営名古屋空港を指定しているほか、災害拠点病院を県内35ヶ所指定しています。また、県内35ヶ所の病院で、71チームの災害派遣医療チーム(DMAT)を保有しています。

■ 大会関係者への医療サービス

大会では、公益社団法人愛知県医師会をはじめ関係機関と調整を行い、適切な医療サービスを提供します。また、救急病院等との連携を図りながら大会のための医療体制を整備し、大会関係者や観戦客に対し、安心・安全な医療サービスを提供します。

■ ドーピングコントロール

世界的なアンチドーピング活動の高まりを踏まえ、常に最新の世界アンチドーピング機構(WADA)国際基準への対応を準備し、かつ日本アンチドーピング機構(JADA)と連携し、WADA基準の遵守に努めます。ドーピングコントロールの実施にあたっては、OCAの指導のもと、適切な情報管理および公開を行ない、クリーンな大会を実現します。

24時間稼動する利便性の高い 快適なメインメディアセンターの提供



名古屋市国際展示場に、国際放送センター（IBC）とメインプレスセンター（MPC）を一体的に設置します。
各競技会場へのシャトルバスや多言語対応の記者会見室、報道関係者を支援するための様々なサポート施設等、
各種サービスを24時間体制で提供します。

会 場

名古屋市国際展示場（ポートメッセなごや）

所 在 地

愛知県名古屋市港区金城ふ頭

整 備 方 法

既存

施 設 概 要

第2展示館 展示面積：6,576㎡
第3展示館 展示面積：13,500㎡

所 有 者

名古屋市

多様な主体と連携した危機管理体制の構築

基本計画

愛知県警は、全警察官数13,519人(2016年4月1日現在)を擁し、「2005年日本国際博覧会(愛・地球博)」や、2010年「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」、2016年「第42回主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)」をはじめとする数多くの国際会議・イベントでの警備実績を有します。

また、警察・消防だけでなく、民間の警備事業者と連携し、安心・安全な大会運営を確立します。

治安方法

選手・OCA役員等大会関係者については、負担を極力少なくするため、生体認証システムの活用等を検討します。また、VIPの移動ルートは他の関係者と別に設けることで、より厳重な安全対策を行ないます。

観戦客については、会場への移動や入退場時において、混雑や事故が生じないように、必要に応じて警備員を配置し、適切な誘導を行います。

各施設においては、所持品・手荷物検査の徹底等により不審者の進入を防ぎ、安全な競技実施や観戦を保障します。



災害時対応

万一、災害が発生した場合には、警察及び名古屋市消防局ほか各消防本部が連携し、迅速かつ確実な対応により被害を最小限に抑えます。

また、化学剤を使用したテロなどの特殊な事案に対しても、愛知県警NBCテロ対策隊や名古屋市消防局特別高度救助隊(ハイパーレスキューNAGOYA)等の専門部隊が的確に対応します。



10 選手村以外の宿泊関係

良質な宿泊施設の安定供給

県内の宿泊施設の集積

名古屋市を中心として、愛知県内には約900ヶ所、4万4千室の宿泊施設が整備されており、約8万2千人が宿泊できる施設環境が整っています。また、一般的なホテルの他にも、伝統的な日本の旅館や、滞在型のウィークリーマンション、ユースホステルなどの多様な宿泊スタイルの選択肢を提供します。

VIPの宿泊施設

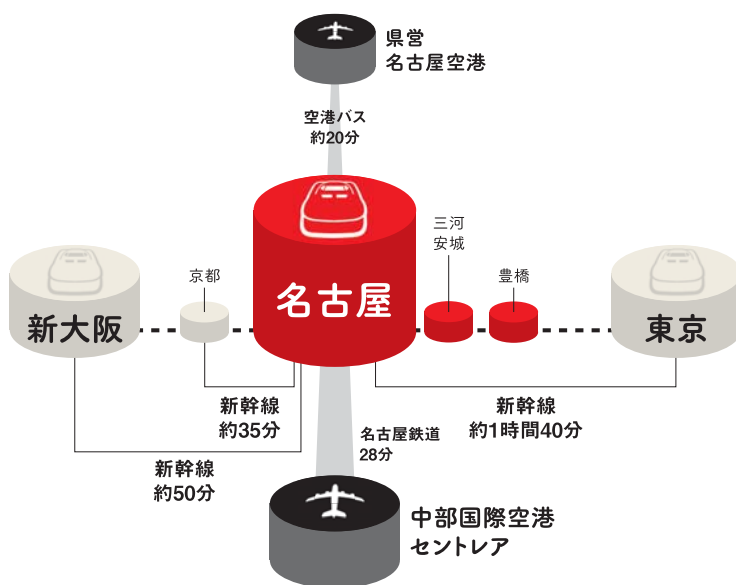
名古屋市を中心として、愛知県内には数多くの一流ホテルが立地しています。これらのホテルをOCA関係者等のVIP用宿泊施設として指定し、各競技会場・選手村へのスムーズな移動を確保します。

日本の観光地へのアクセス拠点

愛知県は、首都圏および関西圏さらには、日本国内の様々な観光地へのアクセス拠点でもあります。この特徴を活かし、大会に訪れた観戦客向けの観光ガイドやWEBサイトを整備し、大会にあわせて日本国内を旅行していただけるようにします。



名古屋城と“徳川家康と服部半蔵忍者隊”



茶臼山高原の芝桜





燃料電池自動車“MIRAI”

環境に配慮した大会運営

■ 愛知県・名古屋市の環境への取組

愛知県と名古屋市では、「2005年日本国際博覧会（愛・地球博）」、2010年「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」、2014年「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」など「環境」に関する国際的イベントが開催されました。

これらの開催にあたり、愛知県と名古屋市は開催地としてサポートし、環境に配慮した運営を支援しました。開催・運営を通じて、この地域には高い環境意識が培われ、県民・市民、NPO、企業、教育機関等による様々な環境活動が活発に行われています。

愛知県と名古屋市では環境先進地として、この環境活動の輪をさらに広げ、持続可能な社会づくりに向けて、暮らし、地域、経済活動などあらゆる場面において、自発的な取組が行われることを目指しています。

第4次愛知県環境基本計画（2014年5月策定）

県民みんなで未来へつなぐ『環境首都あいち』の実現を目指し、「環境と経済の調和のとれたあいち」、「安全で快適に暮らせるあいち」、「県民みんなで行動するあいち」の3つのあいちを基調とした地域づくりを、県民、事業者、NPO、行政など様々な主体の連携、協働により推進しています。

第3次名古屋市環境基本計画（2011年12月策定）

“風土を活かし、ともに創る環境首都なごや”の実現に向け、「健康安全都市」「循環型都市」「自然共生都市」「低炭素都市」の4つの環境都市像を目指した取組を、市民・事業者・行政の協働により推進しています。



■ 環境先進地にふさわしいアジア競技大会

アジア競技大会では、過去の国際的イベントで高く評価された環境配慮の取組を生かし、環境先進地にふさわしい大会運営を行います。

具体的には、大会関連施設は可能な限り既存施設を活用し、大会運営車両は、燃料電池バスや燃料電池自動車（FCV）、電気自動車等の次世代自動車の導入を検討します。燃料となる水素や電力については、可能な限り再生可能エネルギー由来とする等、CO₂排出抑制に努めます。

また、エネルギー使用量の削減、間伐材の利用等による環境負荷低減、グリーン調達の実施を促進します。さらに、大会関係者及び参加者全てが3つのR（リデュース、リユース、リサイクル）に積極的に取り組めるようサポートを行います。

燃料電池バス

基本方針

- 大会主催者負担経費について、過去大会の例も参考にしながら、妥当性のある収支計画を策定します。
- 支出については、効率的な運営を行なうことにより、過大な経費をかけないようにします。
- 収入については、入場料収入やスポンサー収入等の確保に努めるなど、愛知県及び名古屋市が必要な額を確保します。

大会主催者負担経費 850 億円

運営経費	440 億円
競技会場仮設整備費	110 億円
選手村仮設整備費	300 億円

上記金額は不確定要素が多いため、さらに費用の圧縮に努めるとともに、経費を精査する。

13 国際大会／会議の実績

豊富な開催実績により、円滑な大会運営を実現

愛知・名古屋では、国際的なスポーツ大会の会場として様々な競技の開催実績があります。また、ITS世界会議や生物多様性条約第10回締約国会議など世界からVIPをお招きする重要な国際会議や、2005年日本国際博覧会といった世界中から多くの来場がある国際イベントの開催実績も有します。これらの開催経験を通じて培ったノウハウにより、安全で円滑な大会運営を実現します。

国際大会

開催年	大会名	競技種目
2010	FIVB世界選手権	バレーボール
2005～2008、 2011、2012	FIFAクラブ ワールドカップ	サッカー
2007、2011、2015	FIVBワールドカップ	バレーボール
2015	ISUワールドカップ	スケート (ショートトラック)
毎年	豊田国際体操	体操
毎年	名古屋ウィメンズ マラソン	陸上 (マラソン)
毎年	アイアンマン70.3	トライアスロン



名古屋ウィメンズマラソン

国際会議

開催年	会議名	参加国数	参加者数
2004	ITS世界会議	53ヶ国	61,000人
2010	生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)	179ヶ国	13,000人
2014	持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議	153ヶ国	1,091人

その他

開催年	イベント名	参加国数	参加者数
2005	2005年日本国際博覧会 (愛・地球博)	121ヶ国	2,205万人
2012	2012国際航空宇宙展 (JA2012)	32ヶ国	16万人



2005年日本国際博覧会(愛・地球博)

14 選手強化の協力

ジュニアアスリートの強化育成

2020年東京オリンピックあいち選手強化事業

東京オリンピックに愛知県ゆかりの選手を多数輩出し、県民の一体感や気運の醸成につなげるとともに、本県のスポーツ推進を支える好循環を創出するために、オリンピック実施競技の日本代表レベルにある強化指定選手を対象に行う競技力強化事業及び次世代の人材育成事業です。

ジュニア強化指定選手(中・高校生)を対象とした育成事業

心身ともに発達途上にあるジュニア強化指定選手(中・高校生)が今後、競技生活を送っていくにあたり、正しい基礎知識・技術等を身に付けるため、(公財)スポーツ医・科学研究所(県関係団体)と連携し、フィジカルチェックを実施しました。

検査・測定をすることで、自分自身がもつ身体能力や体の特徴を把握し、検査結果を基に専門家によるフィードバックを行い、競技力強化のために必要なトレーニング方法等を理解し、日々の練習において実践するために役立てます。

また、競技力強化の成果やシーズンインとシーズンオフでの変化を比較するために年2回実施しました。



ミドルパワー測定の様子



専門家からのフィードバックの様子

次世代につなぐスポーツ人材育成事業 ～大学所有の最先端施設を活用して～

愛知県と「体育・スポーツ振興に関する協定^{*}」を締結した東海学園大学において、強化指定選手に次ぐ県内トップレベルの競技力を有する中学生を対象に、モチベーションを高めさせ、競技力強化に必要な実践力を育成することを目的として、水泳競技(競泳)の一流指導者による水中カメラを用いた動作分析や「オリンピックを目指すために」をテーマとした講演会を実施しました。

^{*}協定は東海学園大学の他に、中京大学・至学館大学・日本体育大学と締結しています。



泳法チェックの様子

ジュニア競技力向上事業

名古屋市における小・中・高校生の優秀選手並びに将来有望選手に対し、計画的かつ継続的な強化練習等を実施する競技団体を支援しています。精神的にも技術的にも優れ、スポーツマンとしての喜びと誇りを持つとともに、より高い技術の追求に意欲を燃やすジュニア選手の育成を目的としています。



アーチェリー指導の様子

本書は、第20回アジア競技大会を招致するために、
愛知県・名古屋市がOCA(アジア・オリンピック評議会)に提案する書類です。
今後、JOC(日本オリンピック委員会)、OCA、県内市町村、
IF(国際競技団体)及びNF(国内競技団体)等との調整により、
内容が変更となる可能性があります。